



大口中央中学校 だより

令和元年2月28日
伊佐市立大口中央中学校
発行責任者 校長 有村宏史

“本物に触れる”アウトリーチコンサート

2月21日（金）「トリオ・ノート」のお三方をお迎えし、アウトリーチコンサートを開催致しました。これはアウトリーチコンサート実行委員会のお力添えによって実現したもので、今年で2回目となります。

アウトリーチコンサートは、出演者と観客の「距離」をできるだけ小さくし、その空間にいる人々が一体となって音楽を楽しむ趣向で実施されます。今回は、3時間目から6時間目にかけて、2年生の4クラスが1クラスごとに鑑賞させていただきました。

コンサートが始まると、ピアノの大野 真由子氏、ヴァイオリンの高瀬 真由子氏、チェロの田辺 純一氏の卓越した技術によって織りなされる珠玉のハーモニーに、生徒たちは真剣に聞きっていました。



<トリオ・ノート>プロフィール

大野 真由子 Mayuko Ohno -ピアノ-

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程ピアノ専攻修了。第45・46回鎌倉市学生音楽コンクール第2位、第13回吹田音楽コンクールピアノ部門第1位、第17回友愛ドイツリート（歌曲）コンクール優秀共演者賞等受賞。大阪センチュリー交響楽団、芸大フィルハーモニア等共演。同声会新人賞及び読売新人賞受賞、両新人演奏会出演。室内楽・伴奏ピアニストとしても活動中。栄区民文化センターリリス・レジデンスアーティスト。現在、東京藝術大学管楽器科非常勤講師（伴奏助手）及び聖徳大学音楽学部ピアノ科専任講師。



高瀬 真由子 Mayuko Takase -ヴァイオリン-

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。第5回大阪国際音楽コンクール大学の部にて第3位（1位なし）、第23回リトル・カメラ・コンクールにて第1位及び大阪府知事賞など、各賞を受賞。これまでにヴァイオリンを、佐々木由実、鈴木亜久里、石井志都子、漆原啓子の各氏に、室内楽を金木博幸氏、東京カルテットに師事。横浜市栄区民文化センターリリス・レジデンス・アーティスト。2015-16シーズン兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・プレイヤー。2014年7月に初のソロCDアルバム「Meditation」をリリース。



田辺 純一 Junichi Tanabe -チェロ-

千葉県生まれ。東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程卒業。東京国際芸術協会新人オーディション奨励賞。市川市文化振興財団新人演奏家コンクール優秀賞。弦楽四重奏でライブツィヒ弦楽四重奏団、ヘンシェル弦楽四重奏団のマスタークラスを受講。また学内の室内楽定期演奏会では選拔されショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲、ヤナーチェクの弦楽四重奏曲を演奏。フィリップ・ミュレル、アントニオ・メネセス各氏のマスタークラスを受講したほか、これまでにチェロを白神あきえ、伊藤耕司、菊地知也の各氏に、現在は向山佳絵子氏に師事。現在室内楽やオーケストラを中心に、ピアノ伴奏やアレンジなど、多方面で活動中。



校区内9 小学校の集合学習「保健体育」が実施されました。

2月13日（木）に、本校区内の9校の小学校6年生が大口小学校体育館に集まり集合学習を行いました。これは、本校と9小学校が取り組んでいる「小中一貫教育」事業の一環であり、本校の体育科の教師3人（幸村勝哉教諭、坂口勝哉教諭、中島和美教諭）が小学生を対象に、「保健体育」の授業を行いました。



授業では、仲間づくり活動の長縄飛びの後、中学校で行う「集団行動」に取り組みました。指導者の指示を合図に、統制の取れた集団行動を取ることを学ぶことができたようです。

ちょっとうれしいはなし

先日、牛尾にお住まいの方から、学校にお電話をいただきました。その方がおっしゃるには、「夕方4：30ごろ、中学校の下の横断歩道にて3人の女子生徒が心のこもったお辞儀をしてくれました。涙が出るくらい嬉しかったです。1日の疲れが吹き飛びました。ぜひ、子どもたちを誉めてください。」とのことでした。

学校便りでもお伝えしているとおり、本校では生徒会を中心に「GACHI（がち）あいさつ」に取り組んでいるところに、非常に嬉しいお電話を頂くことができました。

これからも、生徒・職員共に気持ちのよいあいさつを心掛けてまいります。

臨時休業措置について

新聞・テレビ等で報道されている「全国一斉休校措置」については、別紙案内文書のとおりです。3月の学校行事等についても、現在、全て未確定ですので、この学校便りでは記載しておりません。

今後については、追ってご連絡差し上げますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

不測の事態に対する情報伝達について（ご理解とご協力をお願い）

新型コロナウイルス感染症に関する学校の運営について新聞・テレビ等のマスメディアで報道がなされておりますが、日々刻々と状況は変わっており、先行きが見通せない状況にあります。このような時に、正しい情報が伝達されず、いわゆるデマが流布され、集団がパニック状態になることが一番怖いことです。

本校としては、**全ての生徒の健康維持と正しい情報を速やかに全ての家庭にお届け**することを最優先して取り組んでまいります。

今回の事態においては、お伝えする情報が複雑となり、既存の電話による学級連絡網では正しい情報が伝わらない恐れがあると考え、本校としては「配布プリント」「学校安心メール」と「本校職員からの直接の電話連絡」でのみ連絡致します。

現在、安心メール未加入の方は、本日改めて加入要項をお配りしておりますので、これを機会に是非安心メールへの加入をお願いします。

